

PHAYAOLレポート 2008-02 (～シャンティ学生寮～)

スタディツアー参加者からの報告 (日刊新周南 連載記事から)

藤屋侃二さん(68) 下松市幸ヶ丘 元KRY取締役ラジオ局長

新 周 南

2008年(平成20年)10月9日(木)

シャンティ学生寮―左が食堂(一階)とゲストハウス(二階)、奥が男子寮、中央は女子寮、右が事務所兼スタッフルーム



タイの首都バンコクから北に七百キロ、タイ第二の都市チェンマイ

少数民族モンを訪ねる ～シャンティ学生寮

は観光地で日本人観光客も多く、味の素の工場などもあり、日本人



がかなり住んでいる。そこから車で二百五十キロの所にあるポーカン村にラオス国境近くの山岳地帯に住み、貧しく学校に行けないモンの子どものためのシャンティ寮がある。

山口県のNGO・シャンティ山口が一九九三年に開設。当初は男子寮だけだったが、今は女子寮もあり、中学一年から高校三年までの約五十人が生活している。

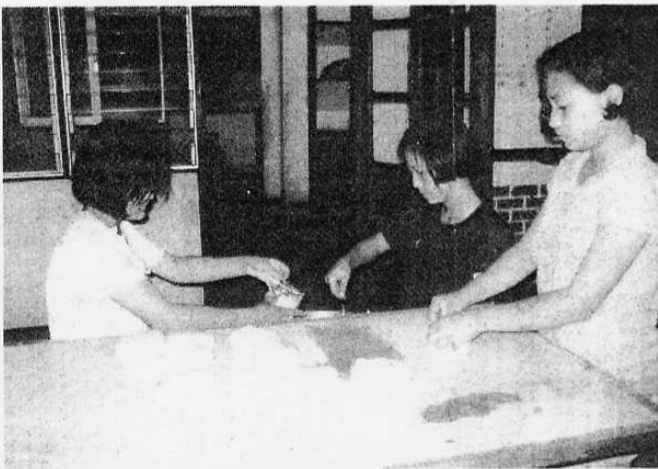
寮に入れる条件は学力ではなく、貧しさと勉強したいという意欲の二つが基準。子どもが山を降り、寮に入って勉強したいと思っても、親が必ずしも賛成しないことがある。奨学金が出るはいえ、多少お金がいるし、何といても子どもも貴重な労働力だからである。

寮の最年少、十二歳はまだあどけない子ども。それでも勉強したいので、家族と離れて年長の子ともたちの共同生活。寮からタイの学校に通うが、最初は成績はどんじり。モン語とは全く違うタイ語での勉強だからだ。それが卒業のころはトップクラスになり、先ごろは最高の大学のタマサート大学に入学してマスメディアでも大きく報じられたという。



寮で買ったものを記帳する女生徒

買いに行く。私も一緒に買い物に行つたが、外はまだ真つ暗。朝市は午前四時ごろから開かれ、食材から日用品まで何でも売っている。タイ人は朝市などでできあいのものを買つて食事をすることが多い。ビンニール袋。当番は買った品物と値段をノートにつけ、スタッフに報告する。朝食だけでなく全員分の弁当も作る。ビンニール袋にご飯をつめる。おかずは学校で四班に分かれて食べるので、四つのビンニール袋に二品か三品。タイ人と一緒に朝晩よりも少し豪華。貧しくとも明るくたくましく仲が良い。何とも魅力的なモンの子どもの共同体だ。(元山口放送取締役ラジオ局長)



全員の昼の弁当づくり

―シャンティ山口教育支援募金にご協力をお願いします。― 2008.10.9 saeki